

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成28年03月17日

計画の名称	葛城市における市街地の良好な水環境の形成（防災・安全）（第2次）														
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	葛城市														
計画の目標	布設後約50年を経過した管渠の長寿命化を図り、陥没等の事故を未然に防止する。														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		26	A	26	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H29末	H30末
1	太田処理分区長寿命化計画の内、管路施設の健全度を、81.6%から100%に向上させる。			
	太田処理分区の健全度 改築済延長（m）/改築を実施すべき延長（m）（408m）	81%	100%	100%
2	ストックマネジメント策定率を、0%から100%に向上させる。			
	ストックマネジメント策定率	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む		地域再生計画を含む	

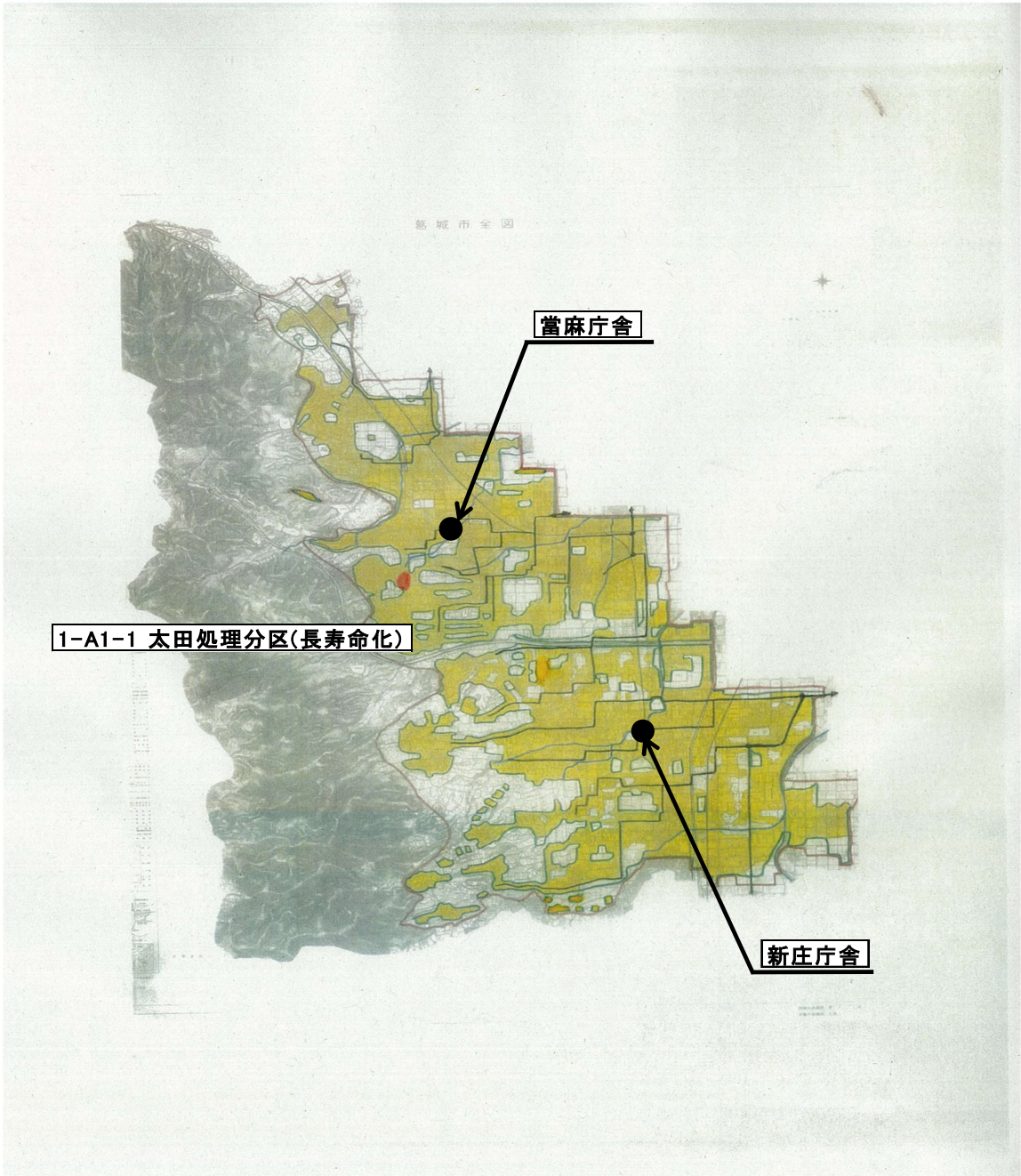
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	葛城市	直接	葛城市	－	－	太田処理分区（長寿命化 ）	管更生工（φ250） L=75m	葛城市	■					6		策定済	
	A07-002	下水道	一般	葛城市	直接	葛城市	－	－	葛城市下水道ストックマ ネジメント計画実施	計画策定・改築実施等	葛城市		■	■	■	■	20		未策定	
												小計						26		
											合計						26			

社会資本整備計画

計画の名称	葛城市における市街地の良好な水環境の形成(防災・安全)(第2次)		
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)	交付対象	葛城市

1-A1-2 葛城市下水道ストックマネジメント計画実施

凡 例	
記 号	名 称
	全体計画区域
	下水道法による事業計画区域



交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額(a)	5	10	4	5	
計画別流用増△減額(b)	0	0	0	0	
交付額(c=a+b)	5	10	4	5	
前年度からの繰越額(d)	0	0	0	0	
支払済額(e)	5	10	4	5	
翌年度繰越額(f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額(h=c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不要率(i = (g+h)/(c+d))%	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 葛城市における市街地の良好な水環境の形成（防災・安全）（第2次）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 都道府県構想と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民や関係機関等の間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 住民等から事業実施の要望がある。	○